

成均館大学 東アジア古典学 学術会議

東アジアの漢文学、固有性と共同性

— 東アジア古典学の可能性と難関

1. 日時：2012年11月23日（金）－24日（土）10：30～18：30

2. 場所：成均館大学 国際館 9B217号（最大200名受容可能）

3. 主催：G10 21世紀グローバル・スカラーシップ育成事業団、成均館・吉林・岡山大学 CAMPUS

ASIA 事業団、 科研「東アジア古典学の実践的深化—国際連携による研究と教育」、成均館大学 漢文古典翻訳協同課程、国語国文学科、漢文学科

4. 後援： 成均館大学 GT10 事業（産学協力団）、教育科学技術部、成均館・吉林・岡山大学 CAMPUS ASIA 事業団、 科研「東アジア古典学の実践的深化—国際連携による研究と教育」

5. 主旨：

ここ数十年にわたって東アジアにおいては「東アジア的な視角の樹立」というテーマの下で活発な学問活動を行い、多くの成果を収めましたけれども、と同時に、国家という単位を越えるということが如何に難しいことなのかを痛烈に思い知りました。

こうした状況において「漢文学」は、他のいかなる分野よりも「東アジア的な視角」の樹立に有利であるということが私たちの判断です。周知の通り、韓国、日本、中国、ベトナムなど、東アジアにおける人々は、主に「漢文」を通して高度の思惟と芸術的な表現を直接的に疎通してきたし、漢文と民族語との創造的な交渉を通して各地域の独特な言語生活を発展してきました。従って「漢文学」という媒体を通すことになると、国家単位を越えて「東アジア」という次元に立って、東アジア言語生活の共通性と違いを新しく認識できるのではないかと期待します。又こうした研究の成果を、キャンパス・アジアの教育プログラムに適用することになると、東アジアの現案をより深く理解する人材の養成にも大いに役立つでしょう。

どうぞ沢山のご関心と協力など、お願い致します。

6. 準備委員会：

鄭雨澤（国語国文学科長）、安大會（漢文古典翻訳協同課程）、

金龍泰（漢文学科長）、黃鎬德（比較文化研究所長）

東アジアの漢文学、固有性と共同性

一 東アジア古典学の可能性と難関

1. 日時：2012年11月23日（金）－24日（土）10：30～18：30
2. 場所：成均館大学 国際館 9B217号（最大200名受容可能）
3. 主催：G10 21世紀グローバル・スカラーシップ育成事業団、成均館・吉林・岡山大学CAMPUS ASIA事業団、成均館大学 漢文古典翻訳協同課程、国語国文学科、漢文学科
4. 後援：成均館大学GT10事業（産学協力団）、教育科学技術部、成均館・吉林・岡山大学CAMPUS ASIA事業団

9:40-9:50	受け付け		
9:50-10:00	開会式	ご挨拶	李熙穆（成均館大学漢文学科）

《第一日目 細部日程》

第一部：東アジア古典学と漢文				司会: 黃鎬德（成均館大）
時間	区分	発表者	発表題目	
10:00-10:40	発表 1	林燦澤 (成均館大)	東アジア古典学と東アジアの現実	
10:40-11:20	発表 2	下定雅弘 (岡山大学)	中国の知識人にとっての善 —六朝・唐・宋の詩人を中心に—	
11:20-12:00	発表 3	沈文凡 (吉林大学)	東亜漢文学の範疇と可能性	
12:00-13:00	昼食			
第二部：文語文、共同性について				司会: 金明錫(成均館大)
時間	区分	発表者	発表題目	

13:00-13:40	発表 4	李永鎬 (成均館大)	経学の東アジア、韓国経学の固有性とは何か
13:40-14:20	発表 5	土屋聡 (岡山大学)	六朝時代の漢字文化
14:20-14:40	休憩		
14:40-15:20	発表 6	齋藤希史 (東京大学)	魏晉南北朝時代と漢文学の伝播
15:20-16:00	発表 7	高文漢 (山東大学)	地理としての中国文学、範疇としての漢文学
16:00-16:20	休憩		
16:20-18:20	<p>第一日目 主題討論</p> <p>総合討論 司会: 安大會 (成均館大)</p> <p>討論者: 沈慶昊 (高麗大), 金永鎬 (成均館大)</p>		

《第二日目 細部日程》

第三部：東アジア古典批評と共同性 司会：金鎮均 (成均館大)			
時間	区分	発表者	発表題目
10:40-11:20	発表 1	徐徹源 (成均館大)	東アジア古典学教育は可能なのか —国民文学以後の自国文学
11:20-12:00	発表 2	韓梅 (山東大学)	古典批評の東アジア
12:00-13:00	昼食		
第四部：東アジア漢文学, それぞれの固有たる共同性 司会：李ジハ(成均館大)			
時間	区分	発表者	発表題目
13:00-13:40	発表 3	權仁瀚 (成均館大)	漢文文化と固有語-木簡と郷歌研究を中心として

13:40-14:20	発表 4	道坂昭廣 (京都大学)	日本における初唐文学の受容
14:20-14:40	休憩		
14:40-15:20	発表 5	陳培豊 中央研究院	帝国主義と漢文—台湾近代漢文学という論題
15:20-16:00	発表 6	金龍泰 (成均館大)	19-20 世紀 東アジアにおける漢文学者たちの 文化的な交流と政治的な対立
16:00-16:20	休憩		
16:20-18:20	第一日目 主題討論 司会: 陳在教 (成均館大) 韓榮奎 (成均館大)、その他		

■ 通訳及び翻訳

1. 通訳

- ① 韓日-日韓 南相旭 (成均館大)
朴利鎭 (ソウル大)
- ② 韓中-中韓 金東建 (成均館大)
高ヨンヒ (成均館大)

2. 発表原稿翻訳

- ① 韓日-日韓 柳忠熙 (東京大)
金ジョンヒ (誠信女子大)
裴寛文 (韓国外大)
南相旭 (成均館大)
- ③ 韓中-中韓 金東建 (成均館大)
吉林大の大学院生 3人